青年期における心理的自立と社会観との関連

○高坂康雅¹

(1和光大学)

キーワード：心理的自立，社会観，青年

Relationships between psychological JIRITSU and views of Japanese society among university students

Yasumasa KOSAKA¹

(1Wako University)

Key Words: psychological JIRITSU, views of Japanese society, adolescents

目 的

自立は青年期の発達課題であり，青年を理解する上で不可欠な概念である。高坂・戸田(2006a, 2006b)は，青年の心理的自立を測定する尺度(PJS-2)を作成し，精神的健康や適応との関連を検討している。一方，高坂(2003)は青年期における心理的自立を「成人期において適応するために必要な心理・社会的な能力を備えた状態」と定義している。これは，青年が大人になり，社会で適応できるようになることを意味しているが，社会に適応するためには，現在の社会をどのように観るかという社会観の形成が必要であると考えられる。青年が自身の生きている環境をどのようにみているかが，個人の意識や行動に影響を及ぼすと指摘されている(白井, 2008 など)ことから，青年の社会観は心理的自立のあり方と関連すると考えられる。

そこで，本研究では，大学生を対象に，心理的自立と社会観との関連について検討することを目的とする。

方 法

調査対象者 東京都内の大学生 285 名(男性 144 名，女性 140 名，不明 1 名；平均年齢 19.6±1.5 歳)を対象者とした。

調査内容 ①心理的自立尺度(PJS-2；高坂・戸田, 2006b)：「将来志向」，「適切な対人関係」，「価値判断・実行」，「責任」，「社会的視野」，「自己統制」の 6 下位尺度各 5 項目を使用した(7 件法)，②社会観項目：Benesse 教育研究開発センター(2008)や峰尾(2013)などを参考に，現在の日本に対するとらえ方を尋ねる項目 30 項目を独自に作成し使用した(5 件法)。

調査時期 2014 年 6 月に集団で実施・回収した。

結果と考察

社会観項目の因子分析 社会観項目 30 項目について，最尤法・promax 回転による因子分析を行ったところ，「努力評価

社会」，「個性強調社会」，「学歴経済主義社会」，「政治不信社会」の 4 因子を抽出した。各因子に高い負荷量を示した項目の平均を算出し，各下位尺度得点とした。

心理的自立と社会観との関連 心理的自立や日本における就労・経済状況の男女差，男女における社会的期待の差異が指摘されているため，男女別に心理的自立 6 得点と社会観 4 得点との相関を算出した(Table 1, Table 2)。

その結果，男性では，心理的自立の「適切な対人関係」得点，「責任」得点，「社会的視野」得点が社会観の「努力評価社会」得点と有意な正の相関を示した。また，心理的自立の「自己統制」得点が社会観の「個性強調社会」得点と有意な正の相関を示した。

女性では，心理的自立の「将来志向」得点，「適切な対人関係」得点，「価値判断・実行」得点，「自己統制」得点が社会観の「努力評価社会」得点と有意な正の相関を示した。また，心理的自立の「社会的視野」得点が社会観の「個性強調社会」得点と有意な負の相関を，「学歴経済主義社会」得点や「政治不信社会」得点と有意な正の相関を示した。

これらの結果から，男性は心理的自立のうち「社会的視野」が形成されているほど，日本社会は努力を認めてくれる社会であるにとらえている一方，女性は「社会的視野」が形成されているほど，日本社会は学歴や所得などによって評価される社会であり，また，信頼できる政治が行われていない社会であるにとらえていることが明らかとなった。これは，女性が日本社会においておかれている状況が未だに男性よりも不利であるために生じていると推測される。一方で，「将来志向」や「価値判断・実行」が形成されているほど，日本社会を努力が認められる社会であるにとらえており，自立の側面によって，日本社会のとらえ方が異なっていることも示唆され，このような差異が，女性の心理的自立の困難さにも関わっていると考えられる。

Table 1 心理的自立 6 得点と社会観 4 得点との相関(男性)

	努力評価 社会	個性強調 社会	学歴経済 主義社会	政治不信 社会
将来志向	.13	.04	.00	.08
適切な 対人関係	.21**	.12	.09	-.08
価値判断 ・実行	.03	-.05	-.02	.13
責任	.36***	.13	-.12	-.10
社会的視野	.25**	-.04	-.14	-.04
自己統制	.15†	.18*	-.11	-.05

*** $p<.001$, ** $p<.01$, * $p<.05$, † $p<.10$

Table 2 心理的自立 6 得点と社会観 4 得点との相関(女性)

	努力評価 社会	個性強調 社会	学歴経済 主義社会	政治不信 社会
将来志向	.19*	-.10	.06	.08
適切な 対人関係	.27**	.10	.02	.03
価値判断 ・実行	.24**	.11	.05	.11
責任	.16†	.00	-.01	.08
社会的視野	-.04	-.23**	.20*	.32***
自己統制	.25**	.21*	-.11	-.04

*** $p<.001$, ** $p<.01$, * $p<.05$, † $p<.10$